

## 令和4年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
足利市立名草小学校	足利市教育委員会	公立

## 1. 特別の教育課程の内容

## (1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「教育課程特例校編成の基本方針等について」を参照。

## 2. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

## (1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

○計画通り実施できている

・一部、計画通り実施できていない

・ほとんど計画通り実施できていない

## (2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

○実施している

・実施していない

## (3) 自校における評価

- ・第1学年から発達段階に合わせ、様々な活動やゲームを通して英会話学習を実施することにより、楽しく学習に取り組んでいる。ALTやEAAの先生が英語とジェスチャーで指示してくれることで、懸命に聞いて理解するようになった。
- ・校内でALTやEAAと進んで英語で挨拶を交わしている姿をよく見かける。英語で話すことのハードルが下がってきているように思われる。
- ・学年が上がるにつれ、簡単な英単語を覚えたり、英語による基礎的なコミュニケーションがとれるようになってきたりしており、英語を聞き取る力も向上している。
- ・ハロウィンやクリスマスなど行事や文化に合わせた活動によって、外国の文化に対する興味・関心が高まっている。

#### (4) 学校関係者による評価

##### <児童>

- 令和4年度のアンケートの「英会話学習の授業で楽しく勉強していますか。」という質問に対し、児童全員が「はい」と答えている。
- 英語チャレンジDAYでは、他国の生徒とリモートでの交流ができ、外国への興味関心が高まると共に、英語によるコミュニケーションの意欲が高まった。

##### <保護者>

- 令和4年度の保護者アンケートの「子ども達は楽しく英会話学習に取り組んでいる」に「よくあてはまる」「あてはまる」と答えた保護者が41人中40人。1人は「あまりあてはまらない」との回答だった。

#### 3. 実施の効果及び課題

- 英会話学習は活動が多いため、普段控えめな児童も、積極的に前に出ることができる。
- 英会話の学習は楽しいという印象をもっている児童が多いが、教科として外国語を教える前段階として、これからも英会話が好きで児童を育成することが大切である。
- 進んで英語で話せる子どもの育成を図る。

#### 4. 課題の改善のための取組の方向性

- ゲームやアクティビティ、次の学年につながるような、書いたり読んだりする活動を今後も取り入れていく。
- ALTやEAAとの打合せの時間を確保する。また、教材や資料について話し合い、学校間で協力して使用できるものを共有することを続けていく。